

国際産学連携拠点に関する検討会について

1. 趣旨・検討内容

平成 26 年 6 月 23 日にとりまとめられた福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想では、浜通りにイノベーションを興し、新たな産業基盤を構築するためには、学術的基盤の整備と世代を超えて様々な研究者や技術者を育成し、輩出された人材が、長期にわたり浜通りの復興をリードしていく体制の整備が必要であるとして、国際産学連携拠点の整備を主要プロジェクトの一つとしている。

このような拠点が整備・運営されることとなれば、福島浜通り地方の復興に寄与するのはもちろん、我が国の産学共同研究による研究成果の事業化や国内外の研究者や技術者を育成する上でも大きな意義を有することは論を待たないが、本構想においては、このような拠点の整備・運営に関する運営主体・関係者、運営・管理の手法、支援策、施設の規模、コストの精査などプロジェクトを具体化していくために必要な課題の検証・検討が必ずしも十分に行われていない状況。

このため、当該拠点の整備・運営の具体化に向けた課題等について、様々な視点から検討し、整理を行うべく「国際産学連携拠点に関する検討会」を立ち上げ、以下の内容を検討していくこととする。

2. 主な検討内容

(1) 福島県浜通り地域における国際産学連携拠点整備

①国内外の研究機関のための国際的な産学官共同研究施設

②大学教育拠点

③国際的な人材の育成を目的とした技術者研修拠点

④原子力災害の教訓・知見を継承、世界に発信するための情報発信拠点

の具体化に向けた課題(運営主体・関係者、運営・管理の手法、施設の規模、投入予算、人員規模、必要な周辺施設、関連の支援策(制度上の特例等)、成功・失敗の要因等)の整理

(2) 福島県浜通り地域における国際産学連携拠点整備の事業実施に向けての対応策

(3) イノベーション・コースト構想の具体化において必要とされる課題への対応策

(4) 国内外の国際産学連携拠点の現状と課題の調査(成功要因、どのようなハード・ソフトが必要か等)

3. スケジュール・進め方

(1)月1回程度開催。今年度内のとりまとめを目指す。

(2)各委員のプレゼンテーション等も実施しながら、「国際産学連携拠点」を構成する各機能の具体化を図っていく。